

(様式第1号)

平成30年10月30日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 生活支援・介護過程に関する領域

科 目 名 : 個別支援計画作成と記録の演習

単 位 数 : 2単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒420-0856


静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階

電話 : 054-253-0818

FAX : 054-253-0829

E-mail : shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 一般社団法人静岡県介護福祉士会 

申請責任者 : 会長 及川 ゆりこ

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙1~3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年 10月 30日
申請団体名	一般社団法人 静岡県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 及川 ゆりこ
申請責任者職名	認定介護福祉士養成研修担当 理事
申請責任者氏名	水野 公智
団体住所	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
同 Tel・Fax	Tel : (054)-(253)-(0818)
メールアドレス	Fax : (054)-(253)-(0829) E-mail: shizukai@cy.tnc.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : 生活支援・介護過程に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 個別支援計画と記録の演習 (2単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	生活支援・介護過程に関する領域	
科目名	個別支援計画作成と記録の演習	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態に即した個別支援計画作成・評価することができるようにする ・個別支援計画を実施する際の記録様式の作成、記録方法を評価し、新しく開発する力量を形成するとともに指導できる力量を形成させる ・個別支援計画の作成をチームにおいて指導できる力量を形成させる 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・リハビリ・認知症など、これまでに学習した知識をふまえたうえでアセスメントを行い、課題を明確化し、個別支援計画を評価することができる。 ・利用者の全人的理解や他専門職からの情報を統合し、個別支援計画を作成することができる。 ・作成した個別支援計画に沿った記録様式の作成と記録方法を評価し、他職員に指導できる ・チームにおいて個別支援計画作成の指導ができる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○事例に沿った医学的知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導 ○作成した個別支援計画の評価、修正 ○個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得 ○記録方法の指導、記録の基本原則（数値で表すもの・数値記録等）、観察した内容（観察記録等）、参考となるエピソード（エピソード記録等）、SOAP）・職員の行動記録・客観性の確保・アセスメント・ICF・課題抽出・目標設定・個人情報・支持的機能・介護観の統一・ケアの共有化 	<p>「個別支援計画作成と記録の演習」は15回の通学授業で実施する。授業内容は講義と演習で実施する</p> <p>第1回 個別支援計画作成とは（事例に必要な知識等の確認・特定疾患の配慮を含む）</p> <p>第2回 事例（特別養護老人ホーム利用者支援：脳梗塞後遺症右片麻痺）による個別支援計画の作成・演習</p> <p>第3回 事例（老人保健施設利用者支援：脳梗塞後遺症左片麻痺）による個別支援計画の作成の評価・演習</p> <p>第4回 事例（身体障がい者支援施設利用者支援：脳性麻痺・不随意運動型）による個別支援計画の作成・演習</p> <p>第5回 事例（身体障がい者支援施設利用者支援：精神障害）による個別支援計画の作成の評価・演習</p> <p>第6回 事例（在宅復帰を考える利用者支援：パーキンソン病）による個別支援計画の作成・演習</p> <p>第7回 事例（退院支援を考える利用者支援：アルツハイマー型認知症）による個別支援計画の作成の評価・演習</p> <p>第8回 個別支援計画作成の指導方法・講義（特定疾患に着目した医学的知識）</p> <p>第9回 個別支援計画作成の指導の実際・演習1（事例：個別ケアの視点を着眼点として）</p> <p>第10回 個別支援計画作成の指導の実際・演習2（事例：個別ケアの視点をチームワークとして）</p> <p>第11回 個別支援計画作成の指導の実際・演習3（事例：連携や、事例検討の視点として）</p> <p>第12回 計画の実施と記録の方法・記録からデータの作成（ケーススタディまでの発展過程）</p> <p>第13回 データを分析して支援の根拠を作成1（Aさん特別養護老人ホームにおけるターミナルケア）</p> <p>第14回 データを分析して支援の根拠を作成2（Bさん障がい者支援施設における地域支援）</p>

	第 15 回 知識と技術のまとめ・確認試験
研修方法	<p>■通学課程（集合研修） □通信課程（通信研修）</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 評価は担当講師が行う。</p> <p>○事前課題として、</p> <p>① レポート課題 1：介護過程の展開に関する用語定義と PDCA サイクルについて 800 字程度にまとめる</p> <p>② レポート課題 2：個別介護計画立案をする上で、どのような点を重視しているのか、チーム運営をする上でどのような指導法を用いるのかについて、それぞれで 400 字程度、合わせて 800 字程度にまとめる</p> <p>③ 個別計画を立案する上で最も参考となる書籍の紹介を行う</p>
研修時間	30 時間（集合研修 30 時間）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻または早退については 30 分を上限として認める。（レポート課題あり）</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（10 問）において、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。D 評価（59 点以下）の場合は、再試験（本試験同様とする）を行い、A～C 評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了している介護福祉士であること ・認定介護福祉士資格取得者 ・補助者（ファシリテーター）についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士としての介護実践の視点」を修了していること。
修了評価	<p>修了評価は以下により行う</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。</p> <p>③筆記試験 確認試験（「個別支援計画作成と記録の演習」科目で作成した個別支援計画の評価・修正）10 問を行う。60 点以上で合格とし、不合格者は合格となるまで追試験（本試験同様とする）を行う。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	40 名（講師 2 名）演習時、受講生 20 名に対し 1 名のファシリテーターを配置する。
開催場所（都道府県）	静岡県総合社会福祉会館シズウェル（静岡県）

【集合研修】具体的なコマシラバス 本科目に関しては1時間を45分換算とする。

1日目【7.5時間】

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	事例に沿った医学知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導	9:30～11:00	・個別支援計画作成とは（事例に必要な知識等の確認・特定疾患の配慮を含む）
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	事例に沿った医学知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導	11:10～12:40	・事例（特別養護老人ホーム利用者支援：脳梗塞後遺症右片麻痺）による個別支援計画の作成・演習
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	事例に沿った医学知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導	13:40～15:10	・事例（老人保健施設利用者支援：脳梗塞後遺症左片麻痺）による個別支援計画の作成の評価・演習
	休憩	15:10～15:20	
4コマ目	事例に沿った医学知識、運動学の知識、介護過程の展開に沿った個別支援計画の作成と指導	15:20～16:50	・事例（身体障がい者支援施設利用者支援：脳性麻痺・不随意運動型）による個別支援計画の作成・演習
	休憩	16:50～17:00	
5コマ目	作成した個別支援計画の評価、修正	17:00～18:30	・事例（身体障がい者支援施設利用者支援：精神障害）による個別支援計画の作成の評価・演習

2日目【7.5時間】

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得	9:30～11:00	・事例（在宅復帰を考える利用者支援：パーキンソン病）による個別支援計画の作成・演習
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得	11:10～12:40	・事例（退院支援を考える利用者支援：アルツハイマー型認知症）による個別支援計画の作成の評価・演習
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得	13:40～15:10	・個別支援計画作成の指導方法・講義（特定疾患に着目した医学的知識）
	休憩	15:10～15:20	
4コマ目	個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得	15:20～16:50	・個別支援計画作成の指導の実際・演習1（事例：個別ケアの視点を着眼点として）
	休憩	16:50～17:00	
5コマ目	個別支援計画に沿った記録様式の作成、記録方法の修得	17:00～18:30	・個別支援計画作成の指導の実際・演習2（事例：個別ケアの視点をチームワークとして）

3日目【7.5時間】

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	記録方法の指導 1	9:30~11:00	・個別支援計画作成の指導の実際・演習 3 (事例:連携や、事例検討の視点として)
	休憩	11:00~11:10	
2コマ目	記録方法の指導 2	11:10~12:40	・計画の実施と記録の方法・記録からデータの作成(ケーススタディまでの発展過程)
	昼食休憩	12:40~13:40	
3コマ目	記録方法の指導 3	13:40~15:10	・データを分析して支援の根拠を作成 1 (Aさん特別養護老人ホームにおけるターミナルケア)
	休憩	15:10~15:20	
4コマ目	記録方法の指導 4	15:20~16:50	・データを分析して支援の根拠を作成 2 (Bさんの障がい者支援施設における地域支援)
	休憩	16:50~17:00	
5コマ目	記録方法の指導 5 確認試験	17:00~18:30	・知識と技術の統合化 ・まとめ・確認試験

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	①2020年1月24日・25日
	②2020年2月15日
	③
開催場所 (会場)	① 静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
	② 〃
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○個別援助計画の作成と記録の演習 野田由佳里氏 聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授</p> <p>学歴：聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程修了 (社会福祉学博士)</p> <p>職歴： ・社会福祉法人豊生会 特別養護老人ホーム彩幸 ・学校法人穂の国学園 中部福祉専門学校 ・学校法人足立学園 愛知文教女子短期大学 ・学校法人聖隷学園 聖隷クリストファー大学 (現在に至る)</p> <p>担当科目・講師経験・調査研究実績 ・担当科目 【介護福祉論】【高齢者福祉論】【社会福祉概論】【介護過程】 【チーム介護論】【包括的ケア論】 ・講師経験 平成17年以降 介護福祉士養成教育専任教員や、愛知県・岐阜県・静岡県などの介護福祉士会主催の各種研修講師を担当。 ・調査研究実績 研究テーマ【介護人材の定着】【腰痛予防】【ケアの質の向上】等。 2015年 文部科学省科学研究費採択 「動作分析による腰痛予防に着目した移乗介護技術習得のためのセルフチェック法の開発」研究代表者 2017年 文部科学省科学研究費採択 「外国人を対象とした地域型介護における人材定着を促す好循環システムの開発」研究分担者として参加 2018年 文部科学省科学研究費採択 「介護職と管理職でつくる仕事のやりがいと経営安定が両立する職場改善プログラムの開発」 2019年 文部科学省科学研究費採択 「タスクシェアリング活用に着目したアドバンスケアモデルの構築」</p>

	<p>研究代表者 主な研究論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 野田由佳里「介護職員の仕事意識に関する考察」2011年 2. 野田由佳里「離職に及ぼすケアの質に関する研究～特別養護老人ホームで働く介護職員の実態～」2012年 3. 野田由佳里「介護福祉実践現場と介護福祉士養成校とのOJTにおける協働に関する報告～A県B法人との取り組みの課題」2012年 4. 野田由佳里「介護職員の仕事のやりがいに関する一考察 同一社会福祉法人に勤務する職員の傾向性」2013年 5. 野田由佳里「介護職員の就労継続に関する報告—A施設の取り組みと課題—」2013年 6. 野田由佳里「デイサービスにおける就業構造」2015年 8. 野田由佳里「デイサービスに従事する熟練ワーカーの就業意識」, 2015年 9. 野田由佳里「ユニットケアにおける情報共有の現状」2016年 <p>主な著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央法規「介護福祉士国家試験解説」 ・保育総論社「介護概論」 <p>担当する講義等 事後課題評価 野田由佳里氏 経歴等は同上</p>
(3)実施体制	
<p>研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)</p>	<p>認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名）</p> <p>認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。</p>
<p>研修の企画運営に関する諸規程</p>	<p>静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。</p>
<p>研修管理責任者職名</p>	<p>会長</p>
<p>研修管理責任者氏名</p>	<p>及川 ゆりこ</p>
<p>機構問合先部署</p>	<p>静岡県介護福祉士会事務局</p>
<p>機構問合先担当者氏名</p>	<p>平野 美智子</p>
<p>機構問合先電話番号/FAX</p>	<p>054-253-0818 / 054-253-0829</p>
<p>機構問合先 e-mailアドレス</p>	<p>shizukai@cy.tnc.ne.jp</p>

受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低10年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）